

香川県

がんの療養生活についてのアンケート

(がん患者ニーズ調査)

～令和元年度調査～

報告書

令和元年 11 月～令和 2 年 2 月実施

令和 2 年 3 月

香川県健康福祉部健康福祉総務課

香川大学医学部附属病院がんセンター

香川大学医学部公衆衛生学講座

はじめに

がんは、昭和 52 年以降今日まで、本県の死亡原因の第 1 位となっています。平成 30 年には、3 千人を超える方ががんで亡くなり、生涯のうちに、2 人に 1 人はがんにかかると推計されるなど、がんは、県民の生命と健康にとって重大な問題となっています。

こうした中、県では、平成 30 年 3 月に、平成 30 年度から令和 5 年度までの 6 年間の計画期間とする「第 3 次香川県がん対策推進計画」を策定しました。この計画では、国のがん対策推進基本計画を基本として、患者それぞれの状況に応じたがん対策の必要性等の新たに示された事項も踏まえながら、「県民一人ひとりが、がんを知り、お互いに手をたずさえてがんに向かい合う香川の実現」を目指すこととしています。

今回の「香川県がん患者ニーズ調査」では、患者が必要な情報を十分に得られているかという観点に留意しながら、がんの診断や治療、療養生活に係る実態や意見等について調査を行っています。今後も、引き続きがん患者を含めた県民の視点に立った計画として推進するため、この調査結果を踏まえ、課題を整理し、更なるがん対策の推進に活用していくこととしています。

調査に当たっては、県内 5 つのがん診療連携拠点病院等や独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センターのほか、県内のがん患者会の御協力をいただき、治療を受けられているがん患者やその家族の方々から貴重なご意見をいただきました。

調査に御協力いただきました皆様、関係者の方々に心より感謝申し上げます。

令和 2 年 3 月

香川県健康福祉部健康福祉総務課

アンケートの実施および解析について

調査対象者：香川県がん対策診療連携拠点病院、および四国こどもとおとなの医療センターにて、入院中および通院中のがん患者で、アンケートの趣旨に同意が得られた者

研究デザイン：前向き観察研究、記述的研究

実施方法：無記名式アンケートを研究主幹施設および共同研究施設にて配布
各実施施設にて直接回収を行った

解析の方法：アンケートの結果について集計と要約を行う

研究の形態：香川大学が主幹の多施設共同研究

【研究代表者】

香川大学医学部附属病院がんセンター 病院助教 村上 あきつ

【共同研究施設・施設代表者】

香川県立中央病院 副院長・血液内科 川上 公宏

高松赤十字病院 副院長・呼吸器内科 山本 晃義

香川労災病院 院長 吉野 公博

三豊総合病院 主任看護師 白川 律子

四国こどもとおとなの医療センター 小児血液・腫瘍内科 岩井 艶子

【研究分担者】

香川大学医学部 臨床腫瘍学講座 教授 辻 晃仁

香川大学医学部 医学教育学講座 教授 岡田 宏基

香川大学医学部 公衆衛生学講座 教授 平尾 智広

香川大学医学部 公衆衛生学講座 助教 神田 かなえ

アンケート配布および回収期間：令和元年 11 月～令和 2 年 1 月

予定症例数：400 症例

アンケート配布数：800 部

アンケート回収数：483 部（うち、同意した 464 部を解析） 回収率 60.4%

解析の実施：香川大学医学部公衆衛生学講座にて行った。

本アンケート調査は、香川大学医学部附属病院倫理委員会において承認を得たものである（承認番号 2019-104）。

I 回答者について

- 回答者の割合
 - 60歳以上が6割
 - 高松・中讃・三豊圏内の居住が9割
- 通院について
 - 通院方法 : 自家用車での通院が最多
 - 片道通院時間 : 1時間未満が9割

1) 記入者はどなたですか

本人	409	(88.5%)
家族	53	(11.5%)

(回答数 462)

2) あなたの性別をお答えください

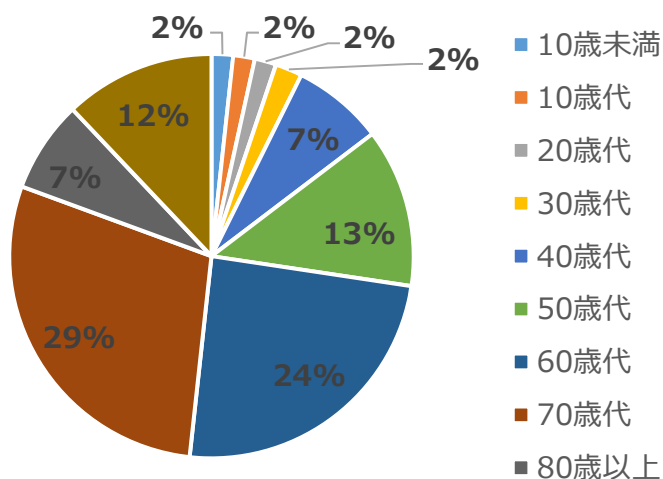
男性	246	(53.0%)
女性	218	(47.0%)

(回答数 464)

3) 年齢

10歳未満	8	(1.7%)
10歳代	8	(1.7%)
20歳代	8	(1.7%)
30歳代	10	(2.2%)
40歳代	34	(7.3%)
50歳代	59	(12.7%)
60歳代	113	(24.4%)
70歳代	134	(28.9%)
80歳以上	34	(7.3%)
年齢不詳	56	(12.1%)

(回答数 464)



4) どの病院でこのアンケート用紙を受け取りましたか

香川県立中央病院	104	(22.4%)
高松赤十字病院	102	(22.0%)
香川労災病院	129	(27.8%)
三豊総合病院	53	(11.4%)
四国こどもとおとなの医療センター	24	(5.2%)
香川大学医学部附属病院	52	(11.2%)
その他	0	(0%)

(回答数 464)

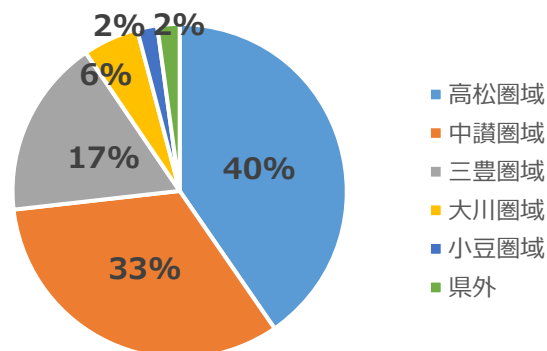
5) 現在は入院中ですか？それとも通院中ですか？

入院中	164	(35.6%)
通院中	297	(64.4%)

(回答数 461)

6) あなたが普段お住まいの地域を教えてください

高松圏域	187	(40.4%)
中讃圏域	152	(32.8%)
三豊圏域	80	(17.3%)
大川圏域	25	(5.4%)
小豆圏域	9	(1.9%)
県外	10	(2.2%)



(回答数 463)

7) 自宅から現在がん治療をしている病院までの通院方法をお答えください

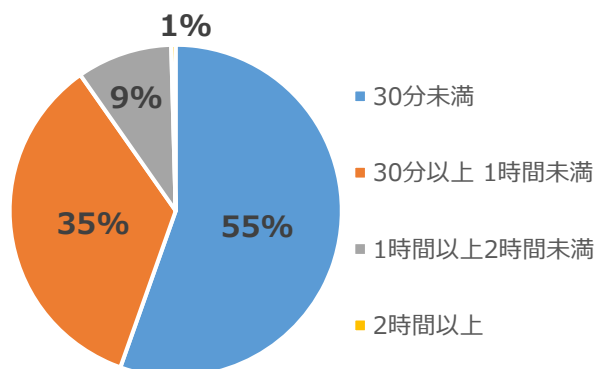
自家用車（自分の運転）	243	(52.7%)
自家用車（自分以外の家族や友人の運転）	223	(48.4%)
タクシー	44	(9.5%)
バス	40	(8.7%)
電車	31	(6.7%)
船舶	9	(2.0%)
その他	14	(3.0%)

(複数回答、総数 461)

8) 通院の片道（自宅～病院）の所要時間はどのくらいですか

30分未満	256	(55.4%)
30分以上 1時間未満	161	(34.8%)
1時間以上 2時間未満	43	(9.3%)
2時間以上	2	(0.4%)

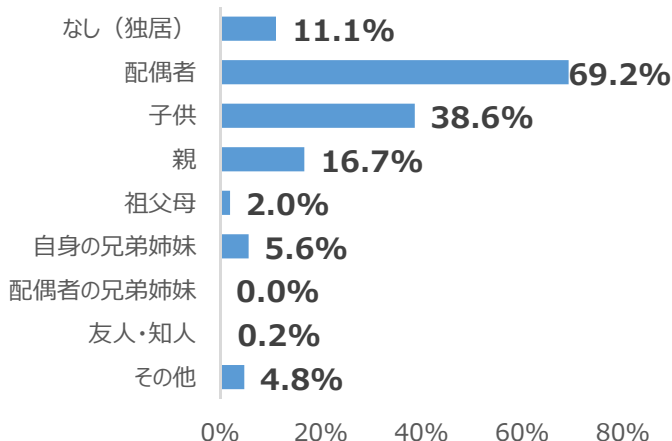
(回答数 462)



9) ご自宅で同居されている方を教えてください

なし（独居）	51	(11.1%)
配偶者	319	(69.2%)
子供	178	(38.6%)
親	77	(16.7%)
父母	9	(2.0%)
自身の兄弟姉妹	26	(5.6%)
配偶者の兄弟姉妹	0	(0%)
友人・知人	1	(0.2%)
その他	22	(4.8%)

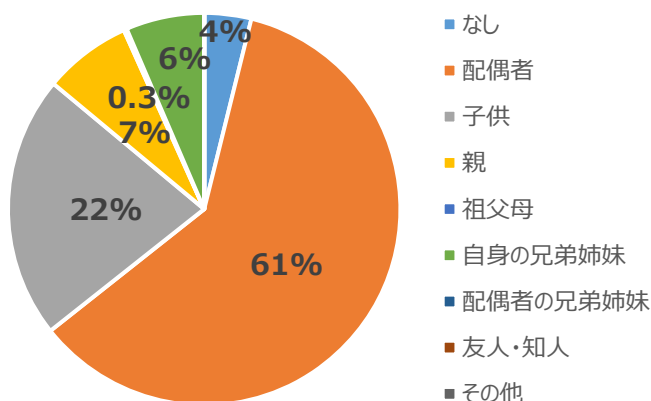
(複数回答 総数 461)



10) あなたのがん治療を主にサポートしてくれる方を教えてください

なし	15	(3.9%)
配偶者	234	(60.5%)
子供	84	(21.7%)
親	28	(7.2%)
祖父母	1	(0.3%)
自身の兄弟姉妹	25	(6.5%)
配偶者の兄弟姉妹	0	(0%)
友人・知人	0	(0%)
その他	0	(0%)

(回答数 387)



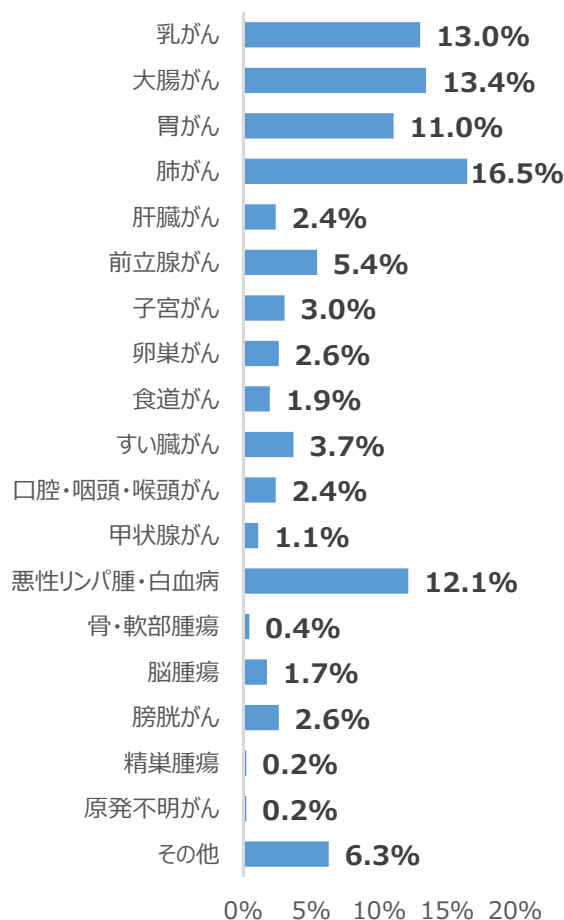
II がんの診断について

- ・ がん診断時のステージ告知：73.1%（前回 53.7%）
- ・ がん告知時の家族同席の割合：62.5%（前回 50.4%）
- ・ 告知後の主な相談先：家族・親戚 64.7%（前回 83.4%）、主治医 45.5%

1 1) 最初にどの部位の「がん」と診断されましたか

乳がん	60	(13.0%)
大腸がん	62	(13.4%)
胃がん	51	(11.0%)
肺がん	76	(16.5%)
肝臓がん	11	(2.4%)
前立腺がん	25	(5.4%)
子宮がん	14	(3.0%)
卵巣がん	12	(2.6%)
食道がん	9	(1.9%)
すい臓がん	17	(3.7%)
口腔・咽頭・喉頭がん	11	(2.4%)
甲状腺がん	5	(1.1%)
悪性リンパ腫・白血病	56	(12.1%)
骨・軟部腫瘍	2	(0.4%)
脳腫瘍	8	(1.7%)
膀胱がん	12	(2.6%)
精巣腫瘍	1	(0.2%)
原発不明がん	1	(0.2%)
その他	29	(6.3%)

(回答数 462)



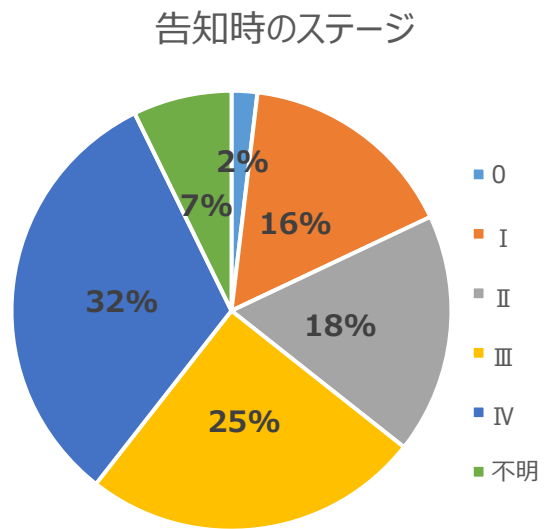
1 2) 最初にがんと診断されたとき、がんの進行度（ステージ）を知らされましたか

知らされた	332	(73.1%)
知らされなかった	65	(14.3%)
わからない	57	(12.6%)

(回答数 454)

0	6	(1.9%)
I	51	(16.1%)
II	56	(17.7%)
III	79	(24.9%)
IV	102	(32.2%)
不明	23	(7.3%)

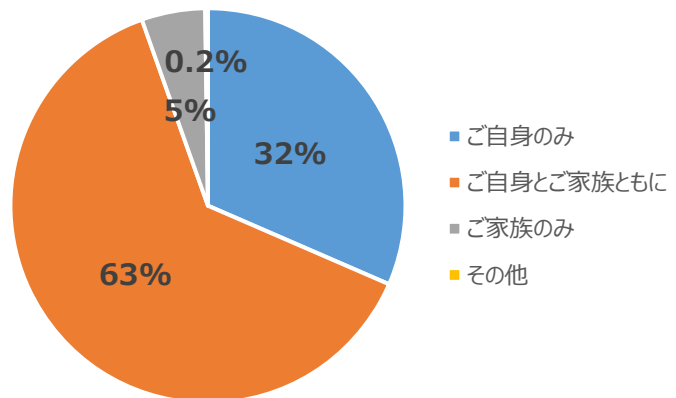
(回答数 317)



1 3) 最初のがんの診断・告知の際、医師からどなたに病名を告げられましたか

ご自身のみ	145	(31.5%)
ご自身とご家族ともに	290	(63.0%)
ご家族のみ	24	(5.2%)
その他	1	(0.2%)

(回答数 460)



1 4) がんと診断・告知されてから治療を始める前の間に、病気のことや療養生活に関して誰かに相談することができましたか

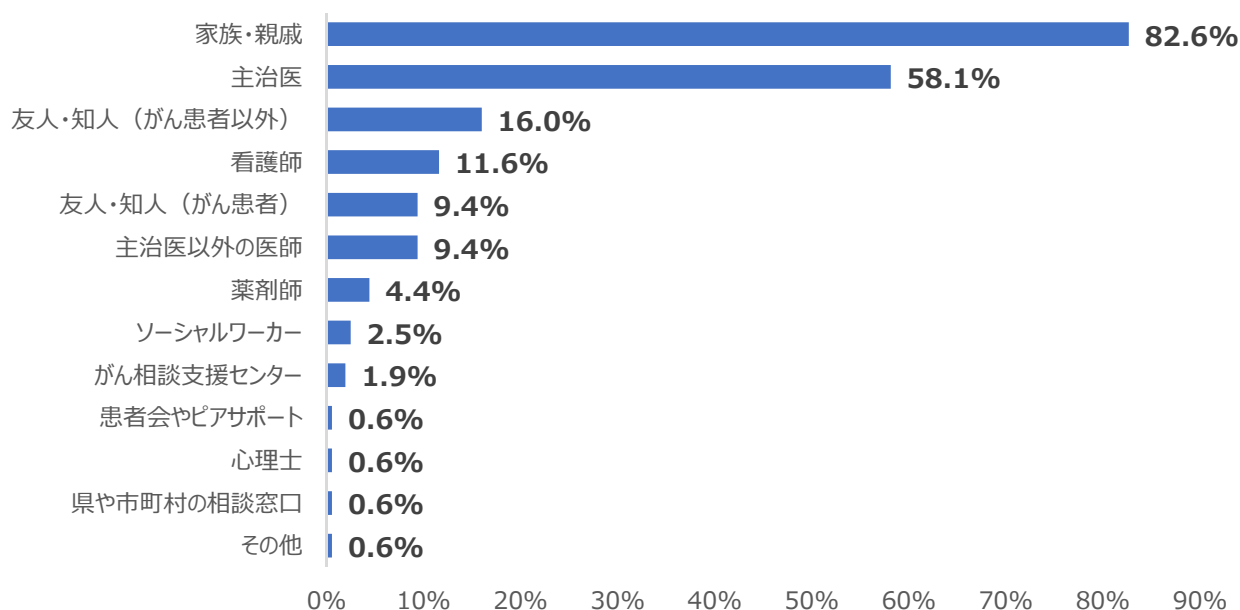
相談を必要としなかった	88	(19.2%)
相談が必要だったができなかった	10	(2.2%)
相談できた	361	(78.6%)

(回答数 459)

相談先

家族・親戚	300	(82.6%)
主治医	211	(58.1%)
友人・知人（がん患者以外）	58	(16.0%)
看護師	42	(11.6%)
友人・知人（がん患者）	34	(9.4%)
主治医以外の医師	34	(9.4%)
薬剤師	16	(4.4%)
ソーシャルワーカー	9	(2.5%)
がん相談支援センター	7	(1.9%)
患者会やピアサポート	2	(0.6%)
心理士	2	(0.6%)
県や市町村の相談窓口	2	(0.6%)
その他	2	(0.6%)

(複数回答、総数 363)



Ⅲ がんの治療について

- ・ 診断後に知りたい情報：標準治療、一般的な治療成績、治療による副作用
 一方で 45%の患者が主治医の説明で十分
- ・ 追加の情報収集：29.8%が追加の情報収集せず
- ・ 情報収集方法：1 位 インターネット、2 位 家族・親戚
 参考サイトの最多 『国立がん研究センターがん情報サービス』
- ・ 香川県がん対策ホームページについて：認知度 15%
 おおむね情報収集に有効だったと回答

1 5) あなた(患者さん)がこれまで受けたがん治療についてお答えください

(2種類以上のがんについて治療された場合には、直近のものについてお答えください)

手術（内視鏡治療を含む）	283	(62.3%)
化学療法（分子標的薬／免疫療法を含む）	297	(65.4%)
放射線治療（陽子線治療、重粒子線治療を含む）	109	(24.0%)
造血細胞移植（同種移植、自家移植を含む）	9	(2.0%)
ホルモン療法	39	(8.6%)
緩和ケア	27	(5.9%)
その他	8	(1.8%)
わからない	3	(0.7%)

(複数回答、総数 454)

1 6) がんと診断されて以降、どのような情報が欲しかったですか

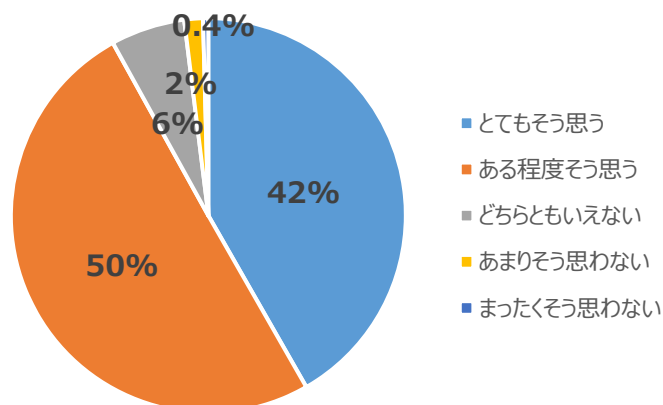
自分のがんの標準的な治療の方法（手術、化学療法など）	206	(45.6%)
主治医の説明だけで十分だったので、追加で情報は欲しいと思わなかった	203	(44.9%)
治療による副作用（脱毛、吐き気、生殖機能の低下など）	146	(32.3%)
自分のがんの一般的な治療成績（5年生存率など）	136	(30.1%)
経済的負担がどれくらいになるか	136	(30.1%)
仕事や学業との両立支援について	67	(14.8%)
免疫療法、ゲノム医療、陽子線・重粒子線治療など先進医療が受けられるか	60	(13.3%)
近くの病院の治療成績（手術件数、患者数、専門医数など）	40	(8.8%)
介護や育児との両立支援について	6	(1.3%)
その他	4	(0.9%)

(複数回答、総数 452)

1 7) がんと診断されてから「がんの治療」を決めるまでの間に、主治医から治療に関する十分な情報を得ることができたと思いますか

とてもそう思う	192	(41.7%)
ある程度そう思う	231	(50.2%)
どちらともいえない	28	(6.1%)
あまりそう思わない	7	(1.5%)
まったくそう思わない	2	(0.4%)

(回答数 460)



1 8) セカンドオピニオン^{「注」}を受けたことがありますか

ある	63	(13.9%)
ない	391	(86.1%)

(回答数 454)

「ない」と答えた人は、受けなかった理由を教えてください

主治医から話はあったが、主治医の説明だけでなっとくできた	221	(67.6%)
主治医から話はあったが、経済的負担が気になった	11	(3.4%)
主治医から話はあったが、主治医との関係が悪くなると心配した	7	(2.1%)
主治医から話はあったが、その他の理由	2	(0.6%)
主治医から話がなかったのに、知っていたが、言い出せなかった	24	(7.3%)
主治医から話がなかったのに、知らなかった	28	(8.6%)
その他	34	(10.4%)

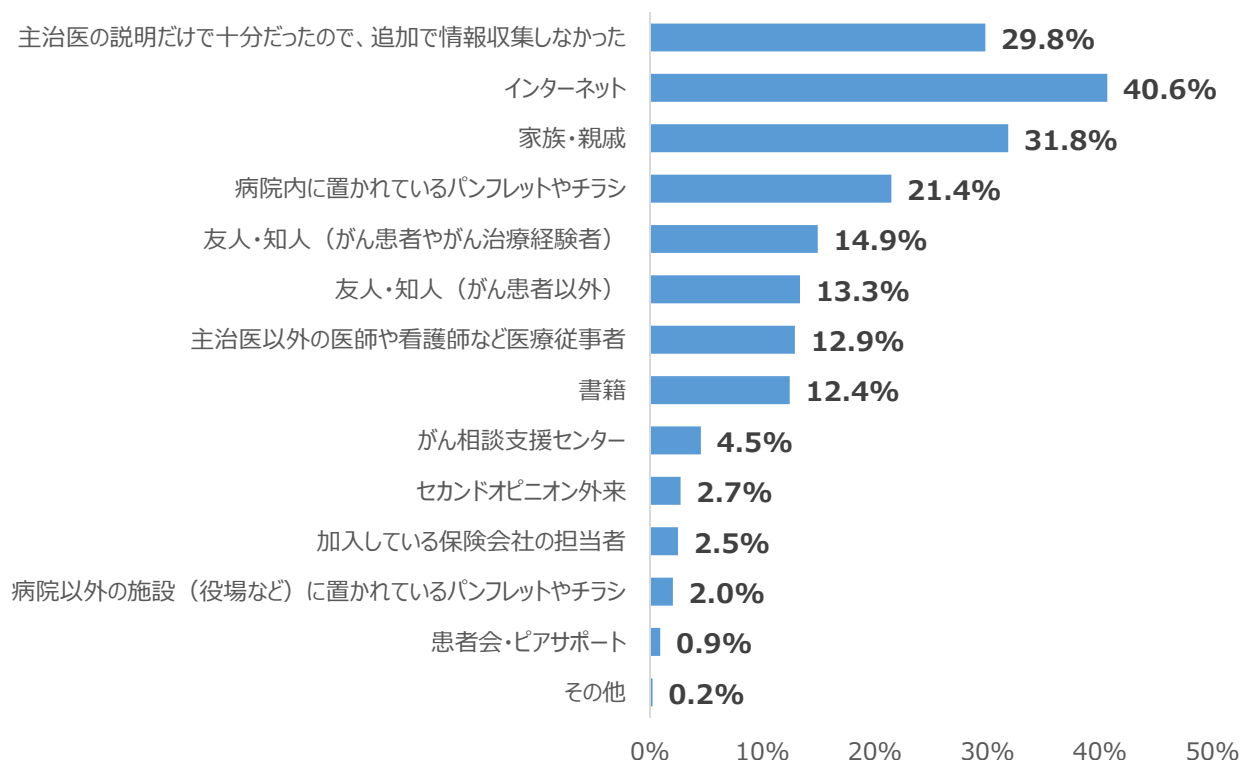
(回答数 327)

※「注」 セカンドオピニオン：診断治療に関して、別の医師の意見を聞くこと

19) がんと診断されて以降、どこから情報を集めましたか

主治医の説明だけで十分だったので、追加で情報収集しなかった	132	(29.8%)
インターネット	180	(40.6%)
家族・親戚	141	(31.8%)
病院内に置かれているパンフレットやチラシ	95	(21.4%)
友人・知人（がん患者やがん治療経験者）	66	(14.9%)
友人・知人（がん患者以外）	59	(13.3%)
主治医以外の医師や看護師など医療従事者	57	(12.9%)
書籍	55	(12.4%)
がん相談支援センター	20	(4.5%)
セカンドオピニオン外来	12	(2.7%)
加入している保険会社の担当者	11	(2.5%)
病院以外の施設（役場など）に置かれているパンフレットやチラシ	9	(2.0%)
患者会・ピアサポート	4	(0.9%)
その他	1	(0.2%)

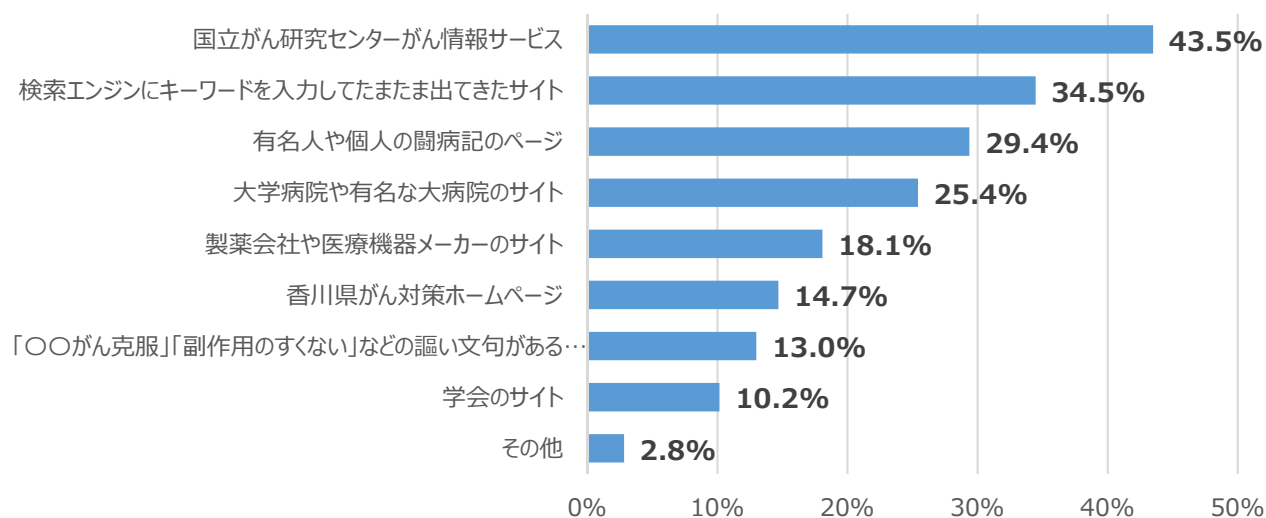
(複数回答、総数 443)



参考としたインターネットサイト

国立がん研究センターがん情報サービス	77	(43.5%)
検索エンジンにキーワードを入力してたまたま出てきたサイト	61	(34.5%)
有名人や個人の闘病記のページ	52	(29.4%)
大学病院や有名な大病院のサイト	45	(25.6%)
製薬会社や医療機器メーカーのサイト	32	(18.2%)
香川県がん対策ホームページ	26	(14.7%)
「〇〇がん克服」「副作用のすくない」などの謳い文句がある広告サイト	23	(13.0%)
学会のサイト	18	(10.2%)
その他	5	(2.8%)

(複数回答、総数 177)



最も役に立った上位3つ

主治医以外の医師や看護師など医療関係者	38	(8.2%)
家族・親戚	31	(6.7%)
インターネット	20	(4.3%)

(複数回答、総数 464)

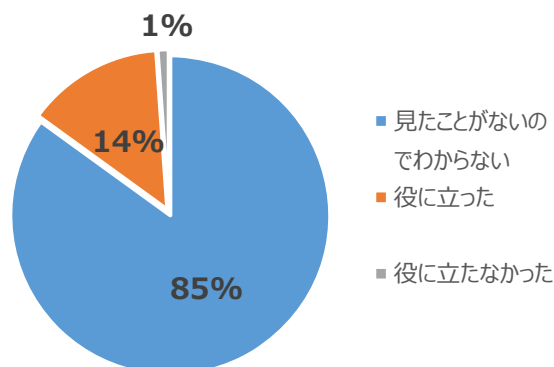
最も役に立ったインターネットサイト上位3つ

国立がん研究センターがん情報サービス	16	(3.4%)
検索エンジンにキーワードを入力してたまたま出てきたサイト	12	(2.6%)
有名人や個人の闘病記のページ	12	(2.6%)

(複数回答、総数 464)

2 0) 香川県がん対策ホームページには、香川県内のがんについての統計や拠点病院一覧、がん検診の情報、冊子「香川県がん患者必携 地域の療養情報」や患者会の情報、などを随時更新して掲載していますが、役に立ちましたか

見たことがないのでわからない	379	(85.0%)
役に立った	62	(13.9%)
役に立たなかった	5	(1.1%)
(回答数 446)		



2 1) 患者会やピアサポート^{〔注〕}があることを知っていますか

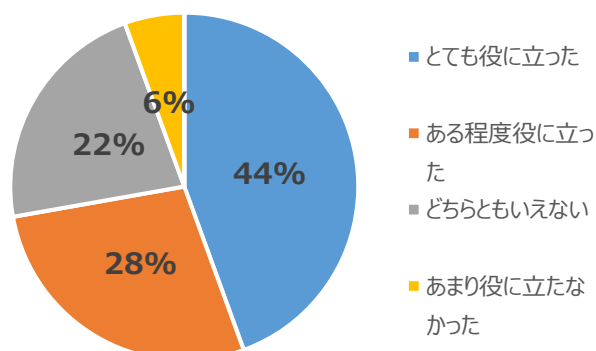
知らない	284	(62.6%)
知っている	170	(37.4%)
(回答数 454)		

利用したことはない	147	(88.6%)
利用したことがある	19	(11.4%)
(回答数 166)		

利用者の感想

とても役に立った	8	(44.4%)
ある程度役に立った	5	(27.8%)
どちらともいえない	4	(22.2%)
あまり役に立たなかった	1	(5.6%)
まったく役に立たなかった	0	(0%)
(回答数 18)		

利用者の感想



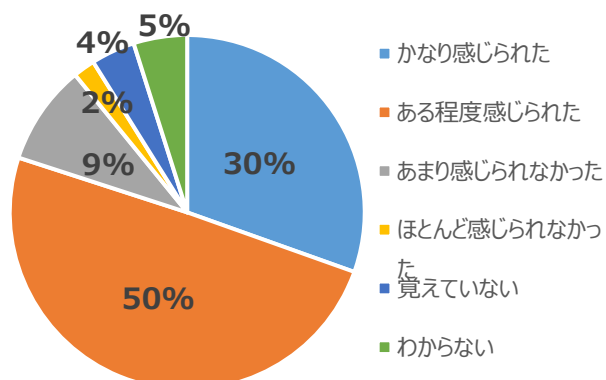
※〔注〕ピアサポート：

患者・経験者やその家族がピア（仲間）として体験を共有し、共に考えることで、患者や家族等を支援すること

2 2) 病名告知や病状・治療方針の説明の際、主治医からあなたやあなたのご家族に対し、精神的なショックをなるべく和らげるような患者の立場に立った配慮を感じられましたか

かなり感じられた	137	(30.4%)
ある程度感じられた	223	(49.6%)
あまり感じられなかった	41	(9.1%)
ほとんど感じられなかった	9	(2.0%)
覚えていない	18	(4.0%)
わからない	22	(4.9%)

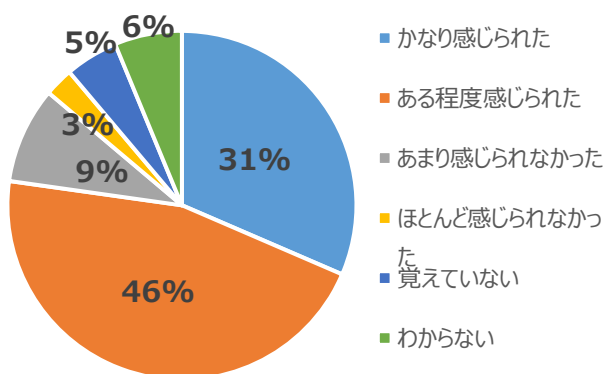
(回答数 450)



2 3) 病名告知や病状・治療方針の説明の際、医師以外の医療スタッフから何らかの配慮を感じましたか

かなり感じられた	141	(31.5%)
ある程度感じられた	205	(45.8%)
あまり感じられなかった	40	(8.9%)
ほとんど感じられなかった	12	(2.7%)
覚えていない	22	(4.9%)
わからない	28	(6.3%)

(回答数 448)



2 4) この用紙を受け取った病院以外で「かかりつけ医」はいますか

いない	178	(38.9%)
いる	280	(61.1%)

(回答数 458)

「いる」と回答した人は、あなたのがんの病状や治療について話すことはありますか

話すことはない	56	(20.1%)
病状や治療の報告のみ	152	(54.7%)
病状やがん治療の副作用など困ったことに対応してもらっている	43	(15.5%)
病院の担当医と連携して、がん治療自体をかかりつけ医で受けている	27	(9.7%)

(回答数 278)

2 5) この用紙を受け取った病院以外で「かかりつけ歯科医師」はいますか

いない	150	(32.7%)
いる	309	(67.3%)

(回答数 459)

「いる」と回答した人は、あなたのがんの病状や治療について話すことはありますか

話すことはない	157	(53.0%)
病状や治療の報告のみ	98	(33.1%)
病状やがん治療の副作用（口内炎、味覚障害など）など困ったことに対応してもらっている	18	(6.1%)
病院の担当医と連携して、がん治療をするために必要な歯科治療（虫歯や動揺歯、歯周病の治療）をかかりつけ歯科医師から受けている	23	(7.8%)

(回答数 296)

IV がんの治療の諸問題について

- ・ 妊よう性^{〔注〕}温存について：
 - 7割強の患者が説明されなかった（そのうち説明を必要としていたのは5.1%）
 - 8割以上の患者が治療費助成に賛同
- ・ 療養費についての情報源：①保険会社が最多、②親族・知人、③主治医・看護師
- ・ がん相談支援センターについて：
 - 認知度 47.2%
 - 利用者中の役に立ったと感じる人 約8割
- ・ 専門的緩和ケア部門について：
 - 利用率 10.9%
 - 患者満足度 約9割
- ・ 在宅療養のための条件：①家族内介護者の有無、②家族の負担、③家族の理解

※「注」妊よう性：女性にも男性にも関わることで「妊娠するための力」のこと

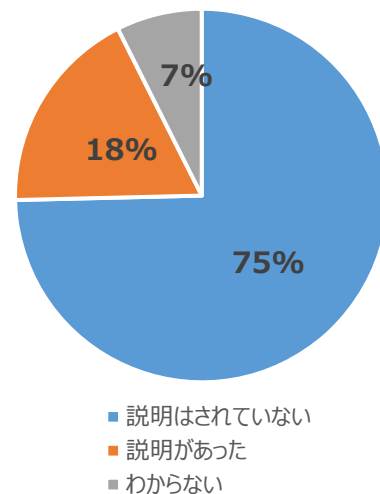
2.6) 最初のがん治療が開始される前に医師からその治療による生殖機能への影響（妊よう性消失の可能性など）について説明を受けましたか。

なお、この質問は説明を必要としていなかった方も含め全員お答えください

説明はされていない	332	(74.6%)
説明があった	80	(18.0%)
わからない	33	(7.4%)

(回答数 445)

説明の有無



「説明されていない」と回答した人について、説明を必要としていましたか

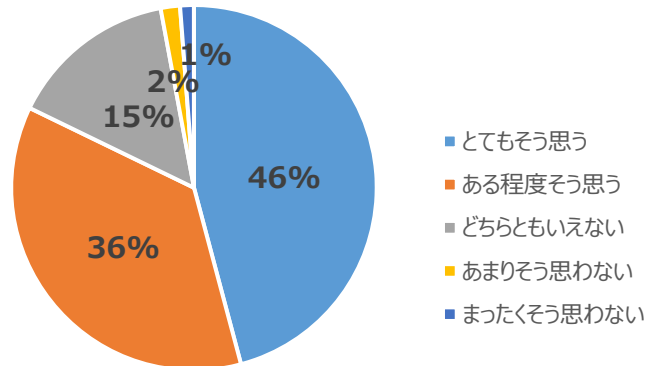
その時点では、必要としていた	14	(5.1%)
その時点では、必要としていなかった	260	(94.9%)

(回答数 274)

27) 香川県ではがん等の治療の影響により生殖機能が低下するまたは失うおそれがあると診断された40歳未満の患者さんの妊よう性温存の治療費を一部助成する事業開始しました。この制度は妊よう性温存治療を受ける上で必要だと思いますか

とてもそう思う	188	(45.9%)
ある程度そう思う	149	(36.3%)
どちらともいえない	61	(14.9%)
あまりそう思わない	7	(1.7%)
まったくそう思わない	5	(1.2%)

(回答数 410)

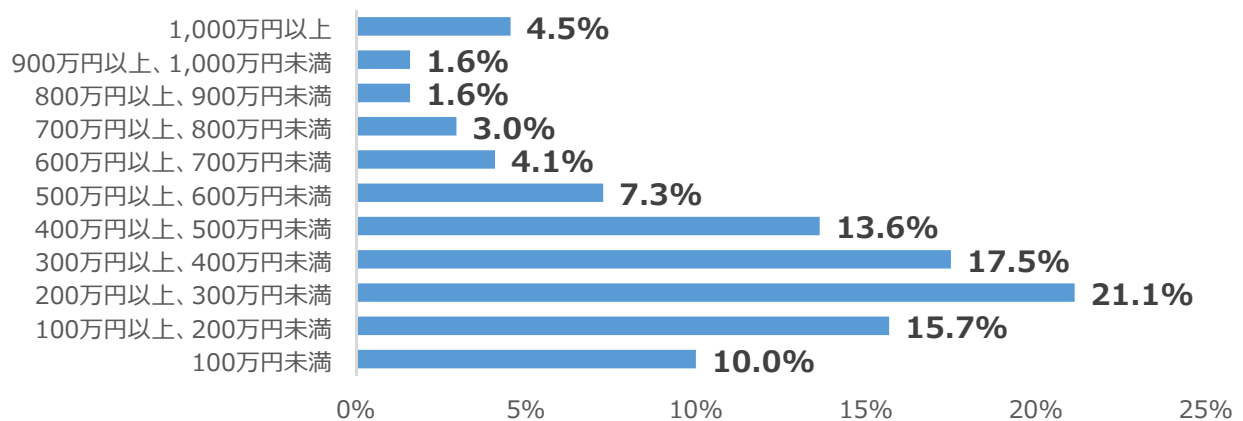


28) この1年間の世帯年収をお答えください

100万円未満	44	(10.0%)
100万円以上、200万円未満	69	(15.7%)
200万円以上、300万円未満	93	(21.1%)
300万円以上、400万円未満	77	(17.5%)
400万円以上、500万円未満	60	(13.6%)
500万円以上、600万円未満	32	(7.3%)
600万円以上、700万円未満	18	(4.1%)
700万円以上、800万円未満	13	(3.0%)
800万円以上、900万円未満	7	(1.6%)
900万円以上、1,000万円未満	7	(1.6%)
1,000万円以上	20	(4.5%)

(回答数 440)

平均値	369万円
中央値	318万円



2 9) がんの治療のために使ったお金は、多い月でどの程度ですか

医療費（がんの治療のために実際に病院に支払った額）

交通費、栄養補助食品代など医療費以外

医療費

1万円未満	16	4.3%	21～30万円	26	7.1%
1万円台	26	7.1%	31～40万円	10	2.7%
2万円台	20	5.4%	41～50万円	11	3.0%
3万円台	23	6.3%	51～60万円	2	0.5%
4万円台	16	4.3%	61～70万円	2	0.5%
5万円台	26	7.1%	71～80万円	3	0.8%
6～10万円	106	28.8%	81～90万円	0	0.0%
11～15万円	40	10.9%	90～100万円	0	0.0%
16～20万円	36	9.8%	100万円以上	5	1.4%

(回答数 368)

医療費以外

1万円未満	57	18.2%
1～2万円	154	49.2%
3～4万円	46	14.7%
5～6万円	28	8.9%
7～8万円	2	0.6%
9～10万円	12	3.8%
10万円超	14	4.5%

(回答数 313)

3 0) 治療費用の負担が原因で、がんの治療を変更・断念したことがありますか

ない	421	(95.2%)
ある	21	(4.8%)

(回答数 442)

治療費用負担の問題がなければ受けた可能性のある治療はどれですか

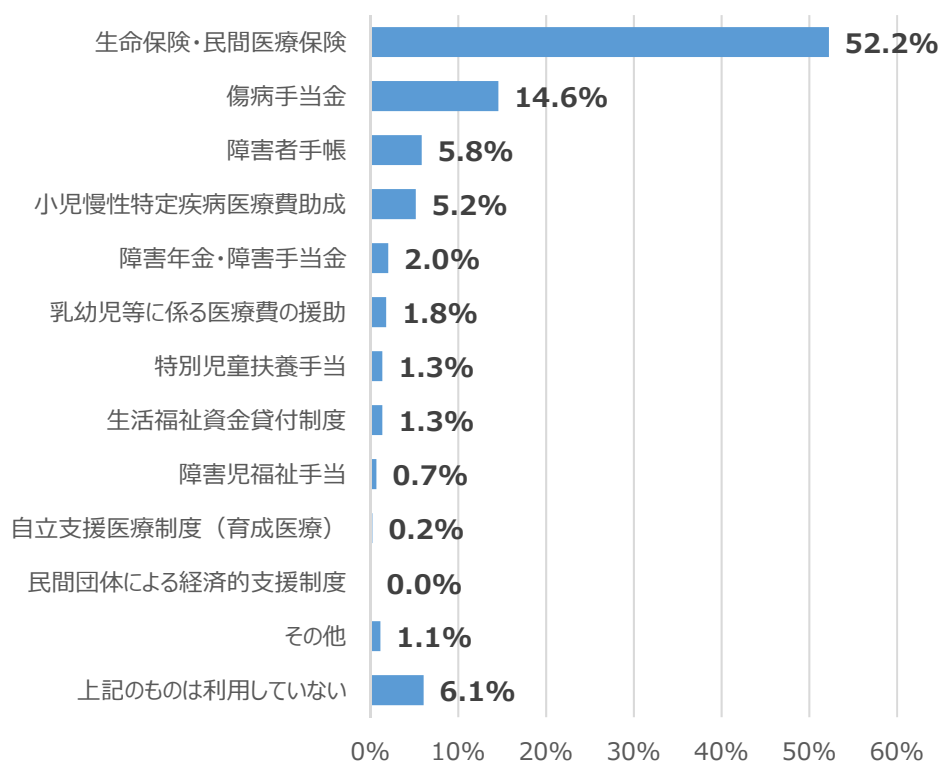
保険診療範囲外の治療（先進医療を含む）	9	(45.0%)
保険診療範囲内での治療	9	(45.0%)
わからない	2	(10.0%)

(回答数 20)

3 1) 治療や療養生活の経済的負担を軽減するために利用したものについて、お答えください

生命保険・民間医療保険	233	(52.2%)
傷病手当金	65	(14.6%)
障害者手帳	26	(5.8%)
小児慢性特定疾病医療費助成	23	(5.2%)
障害年金・障害手当金	9	(2.0%)
乳幼児等に係る医療費の援助	8	(1.8%)
特別児童扶養手当	6	(1.3%)
生活福祉資金貸付制度	6	(1.3%)
障害児福祉手当	3	(0.7%)
自立支援医療制度（育成医療）	1	(0.2%)
民間団体による経済的支援制度	0	(0.0%)
その他	5	(1.1%)
上記のものは利用していない	27	(6.1%)

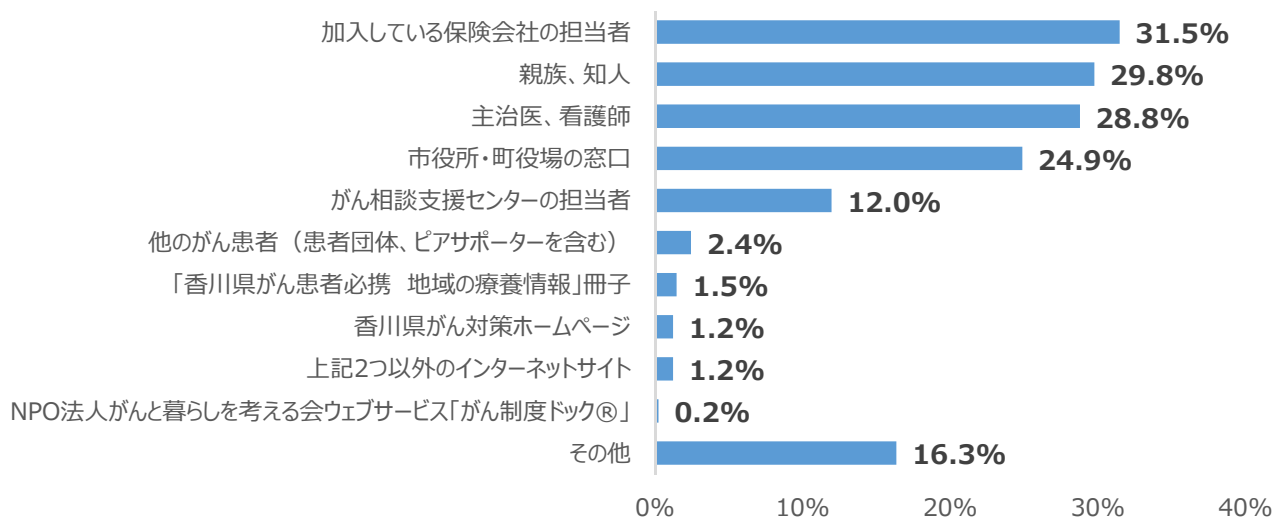
(複数回答、総数 446)



3 2) 上記で利用した制度の情報はどこから得ましたか

加入している保険会社の担当者	129	(31.5%)
親族、知人	122	(29.8%)
主治医、看護師	118	(28.8%)
市役所・町役場の窓口	102	(24.9%)
がん相談支援センターの担当者	49	(12.0%)
他のがん患者（患者団体、ピアサポーターを含む）	10	(2.4%)
「香川県がん患者必携 地域の療養情報」冊子	6	(1.5%)
香川県がん対策ホームページ	5	(1.2%)
上記2つ以外のインターネットサイト	5	(1.2%)
NPO 法人がんと暮らしを考える会ウェブサービス「がん制度ドック®」	1	(0.2%)
その他	67	(16.3%)

(複数回答、総数 410)



3 3) がん相談支援センター^{〔注〕}を知っていますか

知らない	239	(52.8%)
知っている	214	(47.2%)

(回答数 453)

利用したことはない	166	(77.9%)
利用したことがある	47	(22.1%)

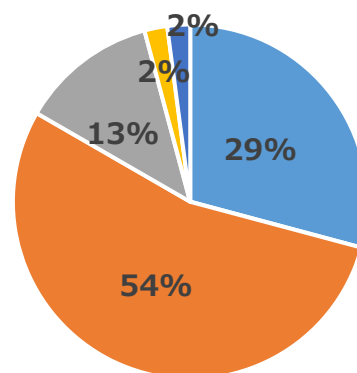
(回答数 213)

※「注」 がん相談支援センター：
全国の小児がん拠点病院、がん
診療連携拠点病院などに設置さ
れている病気や療養生活などに関
する相談窓口

利用者感想 役に立ったと思いますか

とてもそう思う	14	(29.2%)
ある程度そう思う	26	(54.2%)
どちらともいえない	6	(12.5%)
あまりそう思わない	1	(2.1%)
まったくそう思わない	1	(2.1%)

(回答数 48)



- とてもそう思う
- ある程度そう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

利用しなかった理由

必要としていたときには知らなかった	20	(15.3%)
相談したいことはなかった	77	(58.8%)
何を相談する場なのかわからなかった	19	(14.5%)
プライバシーの観点から行きづらかった	8	(6.1%)
相談を受け止めてもらえる自信がなかった	7	(5.3%)
他の患者の目が気になった	3	(2.3%)
その他	8	(6.1%)

(複数回答、総数 131)

3 4) がん治療中の様々な困ったことについて、専門的な緩和ケア部門（緩和ケア外来や緩和ケアチーム）に相談したことはありますか

ない	392	(89.1%)
ある	48	(10.9%)

(回答数 440)

「ない」と回答した人について

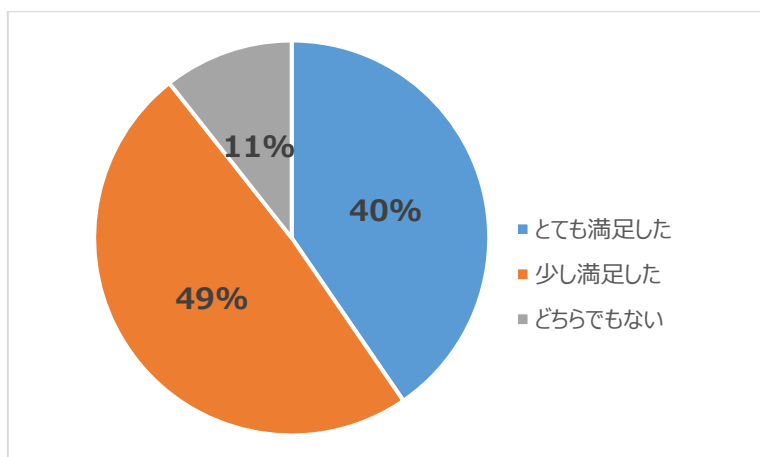
そのような部門を知らなかった	198	(76.2%)
┌ 主治医やその他の担当医療者の対応だけで十分だった	188	
└ 相談したかったができなかった	10	
そのような部門を知っていた	62	(23.8%)
┌ 主治医やその他の担当医療者の対応だけで十分だった	60	
└ 相談したかったができなかった	2	

(回答数 260)

相談者満足度

とても満足した	19	(40.4%)
少し満足した	23	(48.9%)
どちらでもない	5	(10.6%)
少し不満だった	0	(0%)
とても不満だった	0	(0%)

(回答数 47)



相談内容

痛み	29	(61.7%)
痛み以外のからだの苦痛	19	(40.4%)
気持ちのつらさ	20	(42.6%)
生活上の心配（経済的なこと、就労のことなど）	14	(29.8%)
その他	2	(4.3%)

(複数回答、総数 47)

3 5) 療養生活を自宅で過ごすためには、どのような条件が必要だと思いますか あてはまるもの上位 3 つに○

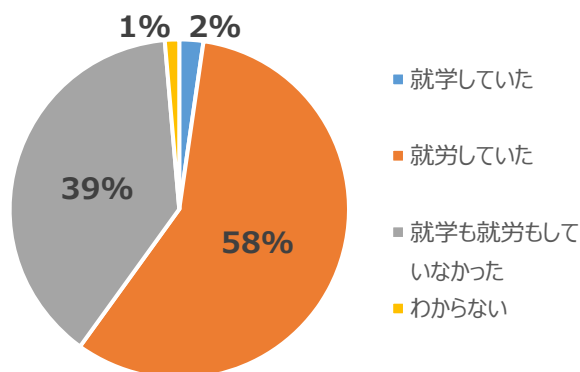
介護してくれる家族がいること	288	(65.0%)
家族に病気や介護の知識があること	105	(23.7%)
家族に負担があまりかからないこと	248	(56.0%)
家族に理解があること	216	(48.8%)
家族の介護疲れなどの際に一時的に病院に入院できること	73	(16.5%)
自宅が介護できる住居構造になっていること	31	(7.0%)
自宅に往診してくれる医師がいること	41	(9.3%)
訪問看護が受けられること	41	(9.3%)
訪問介護が受けられること	16	(3.6%)
訪問リハビリが受けられること	5	(1.1%)
急変時の医療体制があること	109	(24.6%)
信頼できるケアマネジャーがいること	27	(6.0%)
その他	3	(0.7%)

(複数回答、総数 443)

3 6) がんと確定診断されたとき、就学もしくは就労していましたか

就学していた	10	(2.3%)
就労していた	252	(57.7%)
就学も就労もしていなかった	169	(38.7%)
わからない	6	(1.4%)

(回答数 437)



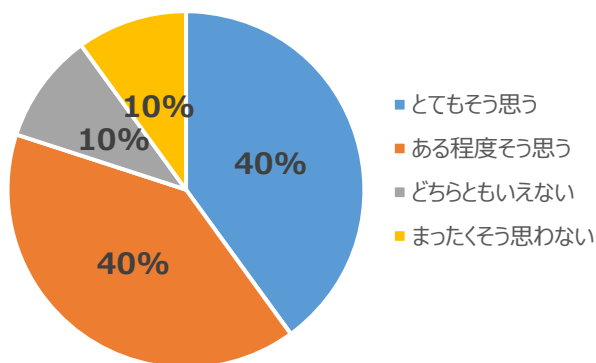
V がん治療と就学について

- 教育関係者と医療者の連携：約半分が連携あると感じている

3 7) 学校や教育上の関係者と医療者が連携して、治療と教育を両方続けられるような配慮がありましたか

とてもそう思う	4	(40.0%)
ある程度そう思う	4	(40.0%)
どちらともいえない	1	(10.0%)
あまりそう思わない	0	(0.0%)
まったくそう思わない	1	(10.0%)

(回答数 10)



3 8) 診断後の就学状況はどうでしたか

治療前と同じ学校に通学している	0	(0.0%)
治療のために転校した	2	(25.0%)
院内学級等を利用している	3	(37.5%)
現在は休学している	1	(12.5%)
その他	2	(25.0%)

(回答数 8)

VI がん治療と就労について

- 勤務先等へのがんの周知について：86.7%が周知した
- 就労継続について：
 - 43.9%が治療前に説明を受けていなかった（そのうち説明を必要としていたのは13.5%）
 - 約3割が治療前と同じ仕事を継続
 - 転職・退職・転業・廃業のタイミングはがん診断直後が最多
- 勤務先の理解について：約7割の勤務先でがん治療に理解あり
- 治療と仕事の両立に必要な対応：①時間単位・半日単位の休暇制度、②試し出勤

39) がんと確定診断された当時の就業形態についてお答えください

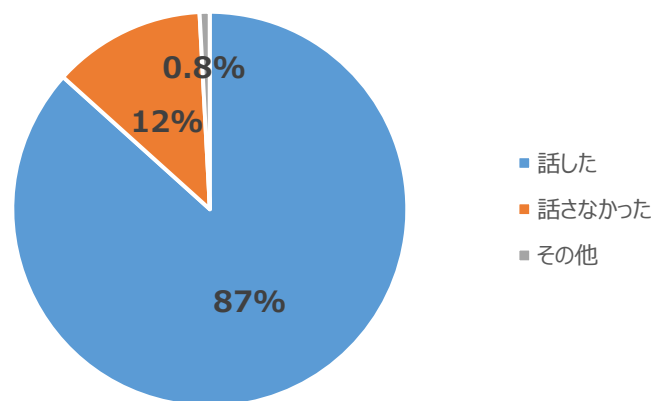
公務員	16	(6.6%)
会社員	89	(36.5%)
会社経営者・役員	21	(8.6%)
派遣社員	8	(3.3%)
パート・アルバイト	50	(20.5%)
個人事業主（農業・漁業従事も含む）	48	(19.7%)
その他	12	(4.9%)

(回答数 244)

40) その時働いていた職場や仕事上の関係者にがんと診断されたことを話しましたか

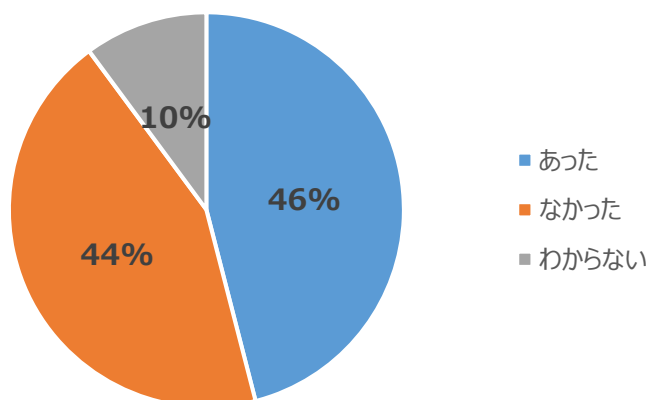
話した	208	(86.7%)
話さなかった	30	(12.5%)
その他	2	(0.8%)

(回答数 240)



4 1) 治療を始める前に就労の継続について、病院の医療スタッフから話がありましたか

あった	109	(46.0%)
なかった	104	(43.9%)
わからない	24	(10.1%)
(回答数 237)		



「なかった」と回答した人について、説明を必要としていましたか

必要としていた	13	(13.5%)
必要としていなかった	83	(86.5%)
(回答数 96)		

4 2) 治療を継続するにあたって勤務先はがん患者に対する理解があると思いますか

手厚い支援を受けた	43	(19.6%)
それなりの支援を受けた	105	(47.9%)
ほとんど支援を受けられなかった	37	(16.9%)
支援どころかマイナスになった (退職を思わせるような話や待遇の変更など)	4	(1.8%)
その他	30	(13.7%)
(回答数 219)		

4 3) 治療と仕事を両立するために必要性を感じた (感じている) ものについて、お答えください

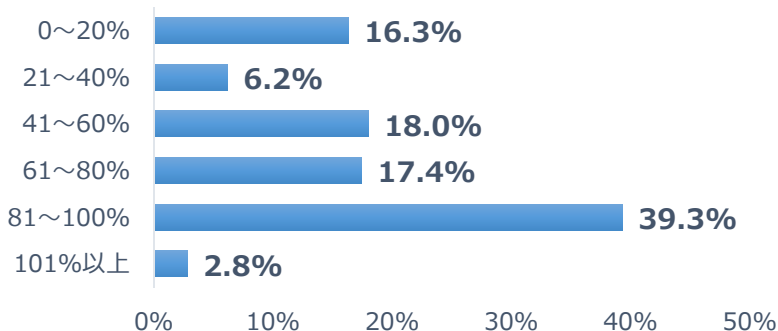
両立の相談窓口	44	(22.0%)
時間単位、半日単位の休暇制度 (定期的・不定期に取得する休暇)	114	(57.0%)
時差出勤 (長さは所定の労働時間で出勤をずらす)	35	(17.5%)
短時間勤務制度 (所定労働時間を一定期間、短縮する制度)	74	(37.0%)
在宅勤務 (テレワーク)	20	(10.1%)
試し出勤 (長期間休業していた者に対し、復職時に一定期間、時間や日数を短縮した勤務を行うこと)	73	(36.5%)
その他	24	(12.0%)
(複数回答、総数 200)		

4 4) 治療開始前と開始後 1 年後のあなたの月収がどのように変化したか、教えてください

治療前と比べた治療後の月収 (%)

0~20%	29 (16.3%)
21~40%	11 (6.2%)
41~60%	32 (18.0%)
61~80%	31 (17.4%)
81~100%	70 (39.3%)
101%以上	5 (2.8%)

(回答数 178)



4 5) がんで初めて治療・療養した以降の仕事状況についてお答えください

① がんと診断された後の仕事の状況はどのようになりましたか

治療前と同様の仕事を継続した	69 (31.5%)
内容や量を調整して同じ職場で仕事を継続した	36 (16.4%)
休職・休業はしたが、転職・退職または転業・廃業はしなかった	69 (31.5%)
自主的に転職・退職または転業・廃業した	36 (16.4%)
勤務先から転職・退職を余儀なくされた	6 (2.7%)
その他	3 (1.4%)

(回答数 219)

② 休職・休業された方にお尋ねします

休職・休業中に利用した制度や働き方についてお答えください (当てはまるものすべてに○)

その後、どのようにされましたか

(少なくとも一度は) 復職した	43 (71.7%)
(一度も) 復職していない	17 (28.3%)

(回答数 60)

有給休暇	38 (55.9%)
有給休暇以外の金銭的保障 (賃金、傷病手当金、相互組合、共済会からの見舞金等を伴う休み)	37 (54.4%)
金銭保障を伴わない休み	25 (36.8%)
その他	3 (4.4%)

(複数回答、総数 68)

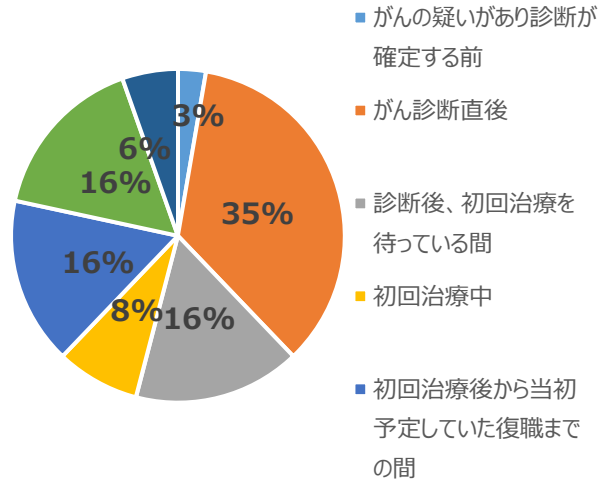
③ 転職・退職・転業・廃業をされた方にお尋ねします

転職・退職・転業・廃業をされたタイミングをお答えください

その後、どのようにされましたか

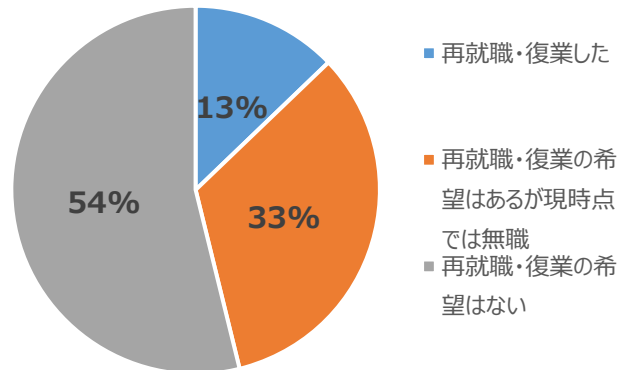
がんの疑いがあり診断が確定する前	1	(2.7%)
がん診断直後	13	(35.1%)
診断後、初回治療を待っている間	6	(16.2%)
初回治療中	3	(8.1%)
初回治療後から当初予定していた復職までの間	6	(16.2%)
一度復職した後	6	(16.2%)
その他	2	(5.4%)

(回答数 37)



再就職・復業した	5	(12.8%)
再就職・復業の希望はあるが現時点では無職	13	(33.3%)
再就職・復業の希望はない	21	(53.8%)

(回答数 39)

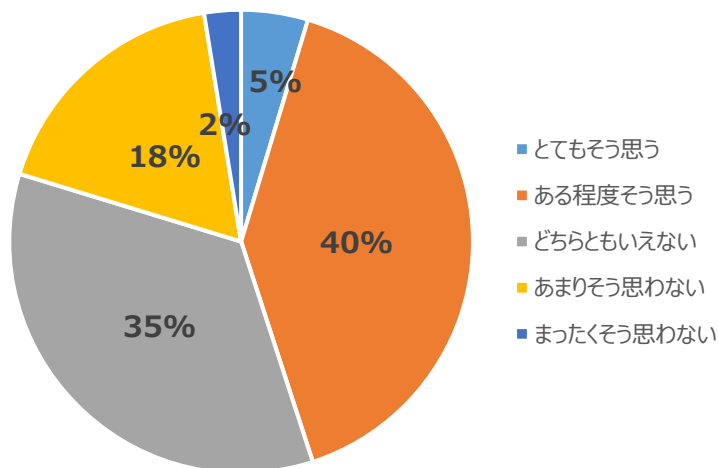


VII 療養生活全般について

4 6) がん患者やその家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所は十分あると思いますか

とてもそう思う	20	(4.7%)
ある程度そう思う	173	(40.3%)
どちらともいえない	149	(34.7%)
あまりそう思わない	76	(17.7%)
まったくそう思わない	11	(2.6%)

(回答数 429)



4 7) 療養生活を続ける中で、よかった・悪かったと感じた出来事、各質問へのご意見、行政に対するご要望、その他気づかれた点などをご自由にお書きください

- もっと経済面でのサポートを充実してほしい
- 病状や生活面など、様々な面で先行きが不安
- 家族と世間(周囲の人たち)の優しさを感じたことがよかった
- 療養生活の中で 40～50 代のガンが多い事が十分に知られていない
- 不安に思ったことなど相談できる医師・スタッフが必要と感じた。信頼感が一番大事
- 火事は消防、事件は警察、ガンと診断されたら「〇〇〇」と言う所がほしい。PR もしてほしい
- 退院後、成人になってから治療の影響による入院や手術などの医療費の負担が大きいので、それに対する助成などがあればよいと思う (小児患者の家族)
- インターネットで情報を集めようとしたが数が多く、また不安をあおる記事やネガティブなものも多く早々に止めた。もっとしっかりした、正しく、目につくサイトがあればいいと思う。いわゆる行政の公式サイトは気付かなかった

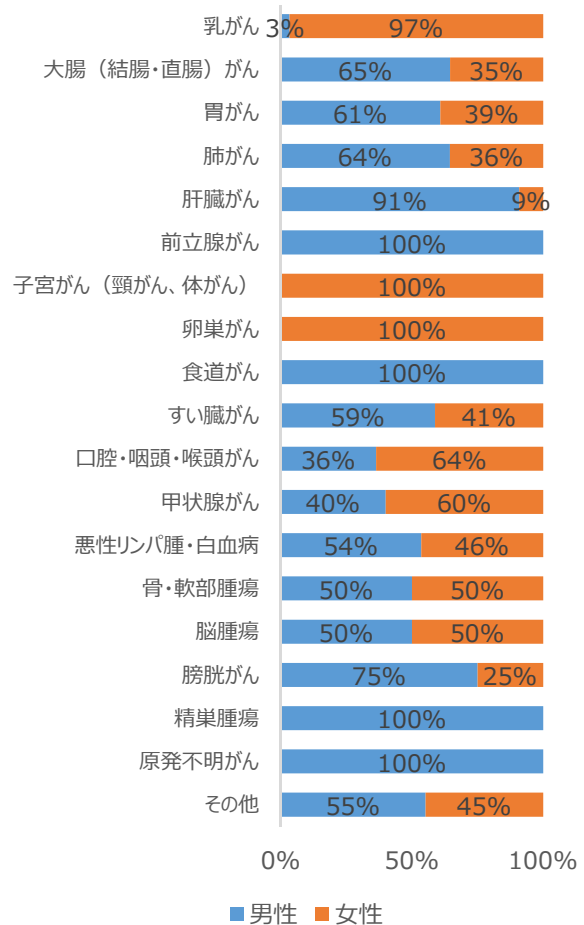
VIII クロス集計

- 診断時のがんのステージ：
 - 男性 1位 IV
 - 女性 I～IVまでほぼ同等
 - 60代以降は診断時、ステージIVが最も多い
- 片道の通院時間について：
 - 小豆圏域 1～2時間
 - その他の地域 1時間未満
- 情報収集について：
 - 60代以降は主治医の説明のみで十分と考えることが多い
 - 60～70代 『国立がん研究センターがん情報サービス』の利用が多い
 - その他の世代 闘病記、キーワード検索がやや多い

① 性別とがんの部位の関連

	男性	女性	合計
乳がん	2	58	60
大腸（結腸・直腸）がん	40	22	62
胃がん	31	20	51
肺がん	49	27	76
肝臓がん	10	1	11
前立腺がん	25	0	25
子宮がん（頸がん、体がん）	0	14	14
卵巣がん	0	12	12
食道がん	9	0	9
すい臓がん	10	7	17
口腔・咽頭・喉頭がん	4	7	11
甲状腺がん	2	3	5
悪性リンパ腫・白血病	30	26	56
骨・軟部腫瘍	1	1	2
脳腫瘍	4	4	8
膀胱がん	9	3	12
精巣腫瘍	1	0	1
原発不明がん	1	0	1
その他	16	13	29
合計	244	218	462

(数値は実数を示す)



② 年齢とがんの部位の関係

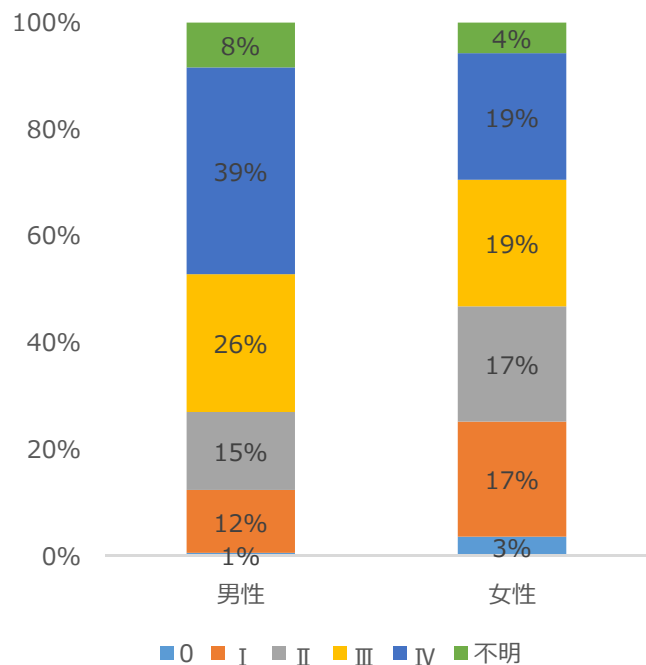
	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	年齢不詳	合計
乳房	0	0	0	2	10	12	14	11	3	8	60
大腸	0	0	1	0	3	4	23	17	4	10	62
胃	0	0	0	0	3	8	14	15	4	7	51
肺	0	0	0	2	1	5	20	34	6	8	76
肝臓	1	0	0	0	1	2	1	4	1	1	11
前立腺	0	0	0	0	0	2	2	14	4	3	25
子宮	0	0	0	1	2	4	5	1	0	1	14
卵巣	0	0	1	0	3	5	2	1	0	0	12
食道	0	0	0	0	0	2	4	3	0	0	9
すい臓	0	0	0	0	0	1	4	8	1	3	17
口腔・咽頭・喉頭	0	0	0	0	0	1	4	1	3	2	11
甲状腺	0	0	0	1	1	0	3	0	0	0	5
悪性リンパ腫・白血病	6	6	3	3	6	5	7	8	3	9	56
骨・軟部腫瘍	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
脳腫瘍	0	0	0	0	1	1	3	2	0	1	8
膀胱	0	0	0	0	0	3	3	4	2	0	12
精巣腫瘍	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
原発不明	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	1	2	3	0	3	4	3	7	3	3	29
合計	8	8	8	10	34	59	113	132	34	56	462

(数値は実数を示す)

③ がんのステージと性別の関連

	0	I	II	III	IV	不明	合計
男性	1	21	26	46	69	15	178
女性	5	30	30	33	33	8	139
合計	6	51	56	79	102	23	317

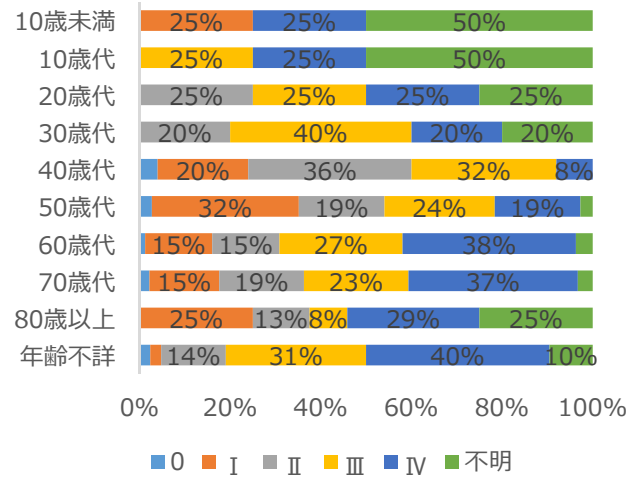
(数値は実数を示す)



④ がんのステージと年齢の関係

	0	I	II	III	IV	不明	合計
10歳未満	0	1	0	0	1	2	4
10歳代	0	0	0	1	1	2	4
20歳代	0	0	1	1	1	1	4
30歳代	0	0	1	2	1	1	5
40歳代	1	5	9	8	2	0	25
50歳代	1	12	7	9	7	1	37
60歳代	1	12	12	22	31	3	81
70歳代	2	14	17	21	34	3	91
80歳以上	0	6	3	2	7	6	24
年齢不詳	1	1	6	13	17	4	42
合計	6	51	56	79	102	23	317

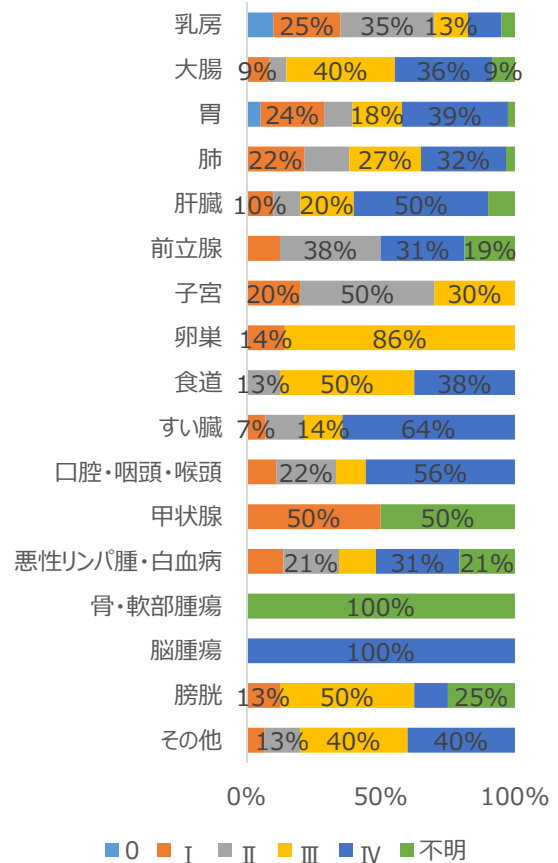
(数値は実数を示す)



⑤ がんのステージと部位の関係

	0	I	II	III	IV	不明	合計
乳房	4	10	14	5	5	2	40
大腸	0	4	3	19	17	4	47
胃	2	9	4	7	15	1	38
肺	0	13	10	16	19	2	60
肝臓	0	1	1	2	5	1	10
前立腺	0	2	6	0	5	3	16
子宮	0	2	5	3	0	0	10
卵巣	0	1	0	6	0	0	7
食道	0	0	1	4	3	0	8
すい臓	0	1	2	2	9	0	14
口腔・咽頭・喉頭	0	1	2	1	5	0	9
甲状腺	0	1	0	0	0	1	2
悪性リンパ腫・白血病	0	4	6	4	9	6	29
骨・軟部腫瘍	0	0	0	0	0	1	1
脳腫瘍	0	0	0	0	3	0	3
膀胱	0	1	0	4	1	2	8
その他	0	1	2	6	6	0	15
合計	6	51	56	79	102	23	317

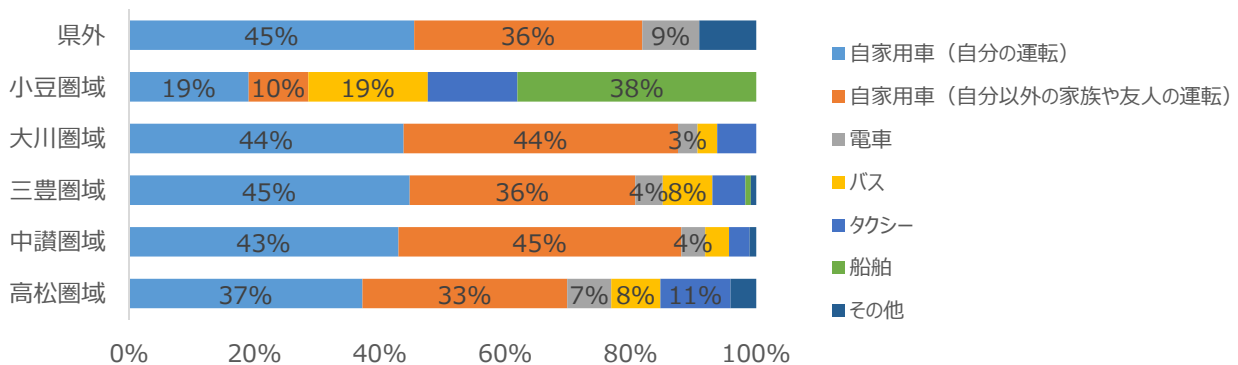
(数値は実数を示す)



⑥ 居住地域と通院方法の関係

	高松圏域	中讃圏域	三豊圏域	大川圏域	小豆圏域	県外	合計
自家用車（自分の運転）	90	79	51	14	4	5	243
自家用車（自分以外の家族や友人の運転）	79	83	41	14	2	4	223
電車	17	7	5	1	0	1	31
バス	19	7	9	1	4	0	40
タクシー	27	6	6	2	3	0	44
船舶	0	0	1	0	8	0	9
その他	10	2	1	0	0	1	14
合計	242	184	114	32	21	11	604

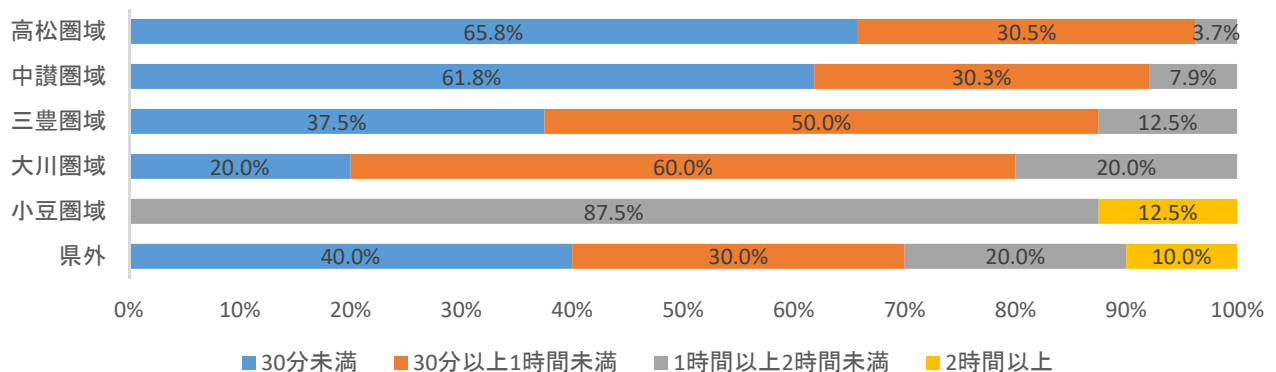
(数値は実数を示す)



⑦ 居住地域と通院時間の関係

	高松圏域	中讃圏域	三豊圏域	大川圏域	小豆圏域	県外	合計
30分未満	123	94	30	5	0	4	256
30分以上1時間未満	57	46	40	15	0	3	161
1時間以上2時間未満	7	12	10	5	7	2	43
2時間以上	0	0	0	0	1	1	2
合計	187	152	80	25	8	10	462

(数値は実数を示す)



⑧ 年齢と情報収集方法の関係

	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	年齢不詳	合計
主治医の説明だけで十分だったので、追加で情報収集しなかった	0	1	2	0	4	7	36	53	13	16	132
インターネット	7	6	2	9	23	39	43	28	3	20	180
家族・親戚	2	2	2	3	9	21	31	43	12	16	141
病院内に置かれているパンフレットやチラシ	0	0	0	1	9	17	23	30	4	11	95
友人・知人（がん患者やがん治療経験者）	1	0	1	2	3	15	17	19	0	8	66
友人・知人（がん患者以外）	2	1	1	1	4	10	19	10	3	8	59
主治医以外の医師や看護師など医療従事者	0	3	0	3	7	10	17	8	2	7	57
書籍	0	3	1	3	2	8	14	15	3	6	55
がん相談支援センター	0	0	2	1	2	4	5	3	0	3	20
セカンドオピニオン外来	0	0	0	1	1	2	4	1	1	2	12
加入している保険会社の担当者	0	0	0	1	2	3	3	2	0	0	11
病院以外の施設（役場など）に置かれているパンフレットやチラシ	0	0	0	0	0	4	1	4	0	0	9
患者会・ピアサポート	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	4
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	12	17	12	25	66	140	216	216	41	97	842

(数値は実数を示す)

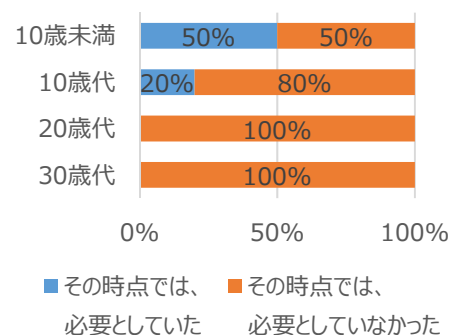
	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	年齢不詳	合計
国立がん研究センターがん情報サービス	4	2	1	4	7	14	23	12	1	9	77
検索エンジンにキーワードを入力してたまたま出てきたサイト	2	3	0	5	10	19	12	6	2	2	61
有名人や個人の闘病記のページ	6	2	1	3	8	10	13	6	0	3	52
大学病院や有名な大病院のサイト	1	1	0	3	5	8	14	9	1	3	45
製薬会社や医療機器メーカーのサイト	0	0	0	1	6	6	8	9	0	2	32
香川県がん対策ホームページ	1	0	1	0	3	5	12	2	0	2	26
「〇〇が克服」「副作用のすくない」などの謳い文句がある広告サイト	2	0	0	0	3	9	3	4	0	2	23
学会のサイト	0	0	0	0	2	5	8	3	0	0	18
その他	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	5
合計	16	8	3	16	44	76	94	52	4	26	339

(数値は実数を示す)

⑨ 年齢（40歳未満）と妊よう性の説明の関係

	その時点では、必要としていた	その時点では、必要としていなかった	合計
10歳未満	1	1	2
10歳代	1	4	5
20歳代	0	1	1
30歳代	0	3	3
合計	2	9	11

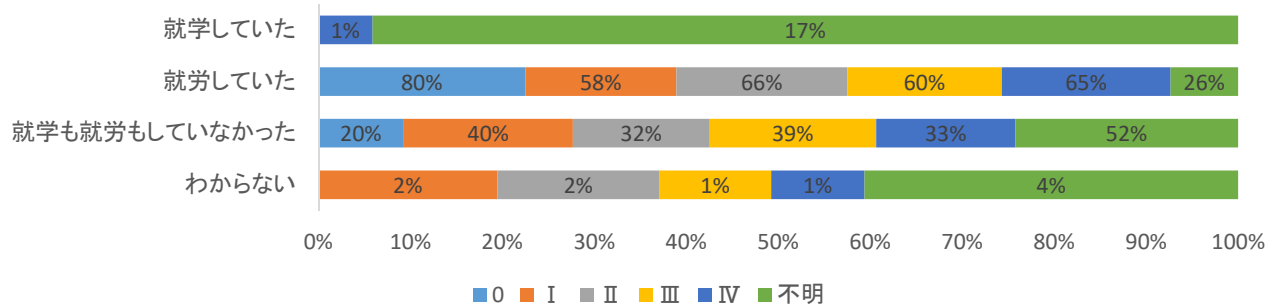
(数値は実数を示す)



⑩ がんのステージと就学・就労の関係

	0	I	II	III	IV	不明	合計
就学していた	0	0	0	0	1	4	5
就労していた	4	28	35	46	60	6	179
就学も就労もしていなかった	1	19	17	30	30	12	109
わからない	0	1	1	1	1	1	5
合計	5	48	53	77	92	23	298

(数値は実数を示す)



⑪ 就業継続とがんの部位の関係

	治療前と同様の仕事を継続した	内容や量を調整して同じ職場で仕事を継続した	休職・休業はしたが、転職・退職または転業・廃業はしなかった	自主的に転職・退職または転業・廃業した	勤務先から転職・退職を余儀なくされた	その他	合計
乳房	14	9		7	0	0	30
大腸	11	5	5	3	1	1	26
胃	12	3	8	2	1	0	26
肺	4	7	15	11	0	0	37
肝臓	2	2	0	0	0	0	4
前立腺	5	0	2	2	0	1	10
子宮	4	1	4	0	0	0	9
卵巣	0	0	2	2	0	0	4
食道	1	2	1	3	0	0	7
すい臓	1	1	2	1	1	0	6
口腔・咽頭	2	0	1	1	0	0	4
甲状腺	2	0	1	0	0	0	3
悪性リンパ腫	5	2	13	1	1	1	23
脳腫瘍	1	0	0	0	1	0	2
膀胱	2	2	2	1	0	0	7
精巣腫瘍	0	0	1	0	0	0	1
その他	3	2	3	2	1	0	11
合計	69	36	60	36	6	3	210

(数値は実数を示す)

⑫ 職種と就業継続の関係

	公務員	会社員	会社 経営者 ・役員	派遣 社員	パート・ アル バイト	個人 事業主	その他	合計
治療前と同様の仕事を継続した	5	24	10	0	14	14	2	69
内容や量を調整して同じ職場で仕事を継続した	2	15	3	0	6	6	4	36
休職・休業はしたが、転職・退職または転業・廃業	5	36	2	5	13	6	0	67
自主的に転職・退職または転業・廃業した	3	8	4	1	11	5	4	36
勤務先から転職・退職を余儀なくされた	1	2	0	2	1	0	0	6
その他	0	0	0	0	0	2	1	3
合計	16	85	19	8	45	33	11	217

(数値は実数を示す)

⑬ 治療断念と世帯年収の関係

	ない	ある	合計
100万円未満	43	1	44
100万円以上、200万円未満	62	4	66
200万円以上、300万円未満	85	7	92
300万円以上、400万円未満	72	4	76
400万円以上、500万円未満	55	1	56
500万円以上、600万円未満	31	0	31
600万円以上、700万円未満	17	1	18
700万円以上、800万円未満	12	0	12
800万円以上、900万円未満	7	0	7
900万円以上、1,000万円未満	6	1	7
1,000万円以上	19	0	19
合計	409	19	428

(数値は実数を示す)

⑭ 年齢とサポートしてくれる人の関係

	10歳 未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳 以上	年齢 不詳	合計
なし	0	0	0	0	4	4	4	2	0	1	15
配偶者	1	0	1	2	10	30	69	84	11	26	234
子供	0	0	0	1	1	8	17	31	16	10	84
親	5	3	3	5	6	0	1	0	0	5	28
祖父母	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
自身の兄弟姉妹	0	0	0	0	1	5	9	4	3	3	25
合計	7	3	4	8	22	47	100	121	30	45	387

(数値は実数を示す)